

活動の場所

和歌山県那智勝浦町



活動目的

美しい里地・里山を鳥獣害から守り、棚田の持続的な保全に努めることを目的としております。

活動内容

中央復建では、森林整備を伴う木材の活用やグリーンインフラの整備など、「みどりと生きる、みどりを活かす」取組みを推進しております。それらの取組み内、里地・里山保全の活動を紹介します。

●生物多様性を有する棚田の保全活動

那智勝浦町色川地区の棚田は、農林水産大臣が認定する「つなぐ棚田遺産」に和歌山県紀南地方で唯一選ばれた棚田であります。この棚田も他の地域と同様に野生鳥獣の被害を受けており、ネット柵などを講じるものの有効な手立てが受けていない状況です。中央復建では、UAVを活用し、サーマルカメラを用いたサル認知、スピーカーを用いた鳥獣の追い払いを試行しており、棚田の保全活動に取り組んでおります。

また、住民が主体的にこうした対策が行えるよう、住民に対しUAVの実技演習（ワークショップ）を行い、持続可能な活動となるよう支援をしております。



UAVの実技演習



UAVからのサーマルカメラ画像

PRしたいポイント

- UAVや3次元データ計測などICT機器を活用した保全活動を行っております。
- ワークショップでは、次世代の担い手育成や多世代交流を意識し取り組んでおります。

活動効果、今後の展開 等

- 住民が主体的にUAVを活用し鳥獣害対策を行えるようになりつつあり、さらに活動を広めていきます。
- さまざまなICT機器の活用により、対象を農業・林業にも広げ、地域環境の保全に努めていきます。